

(工学部・工学研究科)
2017年度 MHI グローバル奨学金の募集

2017.1.11

1 応募資格・・・以下のすべてに該当すること

- 1) 2017年4月現在で、学部(3~4年次)又は博士課程前期に正規生として在籍する私費外国人留学生。
- 2) アジア国籍を有する者。(韓国人学生を優先します。)
- 3) 機械、電気・電子等理工系分野を専攻する者。
- 4) 将来、理工系のエンジニアとして、日本と自国の発展のためにグローバル化に活躍する意欲のある者。
- 5) 2017年4月以降、他の奨学金を受けていない者。
- 6) 日本語でのコミュニケーションが可能な者(面接は日本語となります。)

2 奨学金の金額・期間

奨学金月額 8万円

※一時金 20万円×2回(2017年6月及び2018年4月)

期間 2017年4月から2019年3月までの2年間。但し、在籍する課程の正規の最短修業年限まで。

3 推薦人数 2名

4 提出書類

- 1) 願書(指定様式1、写真貼付) ※日本語で記載。パソコン入力可。署名は自筆。
- 2) 成績証明書
学部生は直近のもの。大学院生は直近のもの及び前課程のもの。
- 3) 経済状況調書 ※パソコン入力可。2017年2月現在
- 4) 私費外国人留学生身上調書(指定用紙)
- 5) 家計状況申告書(指定用紙)
- 6) 指導教員による成績評価(私費外国人留学生各種奨学金申請用)(指定用紙・厳封=封印してもらうこと)
*4)~6)は、2016年10月以降に、他の奨学金応募ですでに提出したことがある場合は不要。
- 7) 推薦書(指定様式2)
※7)は、工学研究科から推薦が決定後提出。パソコン入力可ですが、要押印。
注意)消えるボールペンで記入した願書は、受け付けません。ご注意ください。

5 申請書類の提出先

工学部・工学研究科教務課国際交流係(中央棟3F)

6 締切日 平成29年2月10日(金)

教留国 第 154 号
平成 29 年 1 月 11 日

該当部局長 殿

教育・学生支援部長
(公印省略)

公益財団法人日本国際教育支援協会「平成 29 年度 MHI グローバル奨学金」
に係る適格者の推薦について（依頼）

このことについて、公益財団法人日本国際教育支援協会理事長から別紙（写）の
とおりに依頼がありましたので、お知らせします。

については、募集要項及び下記に留意の上、適格者を留学生課国際教育係あて
2 月 16 日（木）（必着）までに推薦願います。

なお、既に平成 29 年度に他の奨学金（総長特別奨学生は除く）の受給が決定し
ている者または申請中（直接応募含む）の者は原則として選考対象外とします。

記

1. 推薦依頼数 2 名まで

※韓国人学生の推薦を優先願います。

2. 応募資格

※詳細は募集要項を参照のこと

- ・アジア国籍を有する者。
- ・平成 29 年 4 月現在で学部 3・4 年次又は大学院博士前期（修士）課程に正
規生として在籍する者。
- ・機械、電気・電子等の理工系分野を専攻する者。
- ・日本語でのコミュニケーションが可能な者。（日本語での面接が可能な者）

3. 応募書類

- ・願書（別紙様式 1）：A4 用紙 4 枚、写真貼付

※PC 入力可、ただし署名は自筆で記入すること

※写真は 6 ヶ月以内に撮影したもの、裏面に名前を記入すること

- ・推薦書（別紙様式 2）：A4 用紙 1 枚

- ・成績証明書：現課程（および前課程）の成績証明書

※大学院生は前課程（学部）のものから提出のこと

※別紙の成績評価係数算出方法を参照の上、算出した成績評価係数を余白に
鉛筆書きで記入すること

- ・経済状況調書：平成 29 年 2 月現在で作成

4. 注意事項

- 総長特別奨学生で大学推薦された場合、受給期間（平成 29 年前期～）中の授業料免除申請は出来ません。
- 経済状況調書は留学生課選考で使用します。記入漏れがないか確認後、部局確認欄に押印の上提出願います。

※提出書類及び書類記載内容に不備がある場合は、選考の過程で不利に取り扱われることがありますので、各部局において提出書類の最終的な確認をお願いします。



日 国 教 IT 第 323 号
平 成 29 年 1 月 4 日

東 北 大 学 長 殿

公益財団法人 日本国際教育支援協会
理 事 長 井 上 正 幸
(公印省略)

「平成 29 年度 MHI グローバル奨学金」にかかる適格者の推薦について(依頼)

貴学におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、本協会の事業につきまして、格別のご高配を賜り誠に有難うございます。

本協会では、民間団体・企業又は個人(以下「団体等」という。)から寄付を募り、協力いただける団体等の名を奨学金の名称に冠する「冠奨学金事業」により、学生に奨学金を支給する事業を行っています。この事業は、ご支援をいただく団体等の社会貢献を明示し、奨学金を支給される学生に対し、支援する団体等の「顔の見える」支援事業として実施しているものです。

このたび、三菱重工業株式会社からのご寄付による「MHI グローバル奨学金」の平成 29 年度の募集を行います。

については、同封の募集・推薦要項に基づき、応募資格、推薦方法等にご留意のうえ、平成 29 年 3 月 6 日(月)までに適格者の推薦をお願いいたします。

なお、貴学からの推薦人数は 2 名までとし、韓国人学生の推薦をご優先頂きますようお願い申し上げます。

《同封書類》

募集・推薦要項、願書、推薦書

【本件に係る照会先】

公益財団法人 日本国際教育支援協会
国際交流課

〒153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29

TEL: 03-5454-5274 FAX: 03-5454-5242

E-mail: ix@jees.or.jp

平成 29 年度 MHI グローバル奨学金 募集・推薦要項

公益財団法人日本国際教育支援協会（以下「本協会」という。）では、三菱重工業株式会社（取締役社長宮永 俊一 氏）のご支援により、「平成 29 年度 MHI グローバル奨学金」（以下「本奨学金」という。）の受給者を下記により募集する。

記

1. 目的

本奨学金は、アジア地域から日本の大学及び大学院に留学する、優秀な私費外国人留学生に対して奨学金を支給することにより、在学中の経済的不安を緩和し学習効果を高め、国際的な人材育成に寄与することを目的とする。

2. 奨学金の寄付者及び寄付の趣旨

本奨学金の寄付者である三菱重工業株式会社（以下「寄付者」という。）は、常に次の世代の暮らしと、そこにある幸福を想い、人々に感動を与えるような技術とものづくりへの情熱によって、たしかな未来を提供することを目指し企業活動を行っている。

2007 年に策定した「社会貢献活動方針」では、地域社会の発展や次の時代を担う青少年の育成に貢献する多彩な活動を展開しており、その一環として、アジア地域諸国との交流を促進し、国際的な人材育成に寄与することを目的として資金を提供された。

3. 応募資格

次の各号のすべてに該当する者。

- (1) 平成 29 年 4 月現在、日本国内の大学（以下「大学」という。）（学部 3～4 年次又は大学院修士課程）に正規生として在籍する予定の私費外国人留学生。なお、日本国内の大学は、寄付者と協議の上選定した指定校制とする。また、在留資格は留学であること。
- (2) 機械、電気・電子等の理工系分野を専攻する者（医・歯・薬・獣医学及び学際的な分野は除く）。
- (3) アジア地域の国籍を有する者。
- (4) 将来、理工系のエンジニアとして、日本と自国の発展のためにグローバルに活躍する意欲のある者。
- (5) 留学の目的及び計画が明確で、留学の効果が期待できる者。
- (6) 真に経済的援助を必要とする者。
- (7) 本奨学金受給期間中、他の奨学金を受けない者〔貸与型（返済が必要なもの）奨学金、学費免除及び一時金は除く〕
- (8) 日本語でのコミュニケーションが可能な者。
- (9) 在籍大学の長の推薦を受けることができる者。

4. 採用人数

4 名程度

5. 支給内容

- (1) 月額奨学金 80,000 円
- (2) 一時金 200,000 円×2 回（平成 29 年 6 月及び平成 30 年 4 月に支給）

6. 支給期間

平成 29 年 4 月より平成 31 年 3 月まで（ただし、大学における在籍期間中に限る。）

7. 応募・推薦方法

- (1) 本奨学金を受けようとするもの(以下、「応募者」という。)は、所定の様式による願書を、大学を通じて、本協会理事長(以下「理事長」という。)に提出するものとする。
- (2) 大学の長は、応募者が3に挙げる応募資格に該当する者について、8に挙げる応募・推薦書類を、理事長に提出するものとする。なお、推薦人数等については、別途依頼文で示す。

8. 応募・推薦書類

- (1) 願書(別紙様式1。日本語で記載されたものに限る。) 1通
- (2) 応募者の写真(最近6か月以内に撮影したもの。4.0cm×3.0cm、上半身、脱帽、裏面に氏名を記入し、願書の所定欄に貼付すること。) 1葉
- (3) 推薦書(別紙様式2。推薦理由は、指導教官等が記入すること。) 1通

9. 応募・推薦書類の提出期限

平成29年3月6日(月)本協会必着。なお、締切期日を過ぎた場合や提出書類に不備のある場合は、受理しない。また、提出書類は一切返却しない。

10. 選考方法及び結果の通知

理事長は、7の(2)により推薦された者について、寄付者とともに書類審査等を行い、寄付者による面接(平成29年3月下旬予定。なお、面接は日本語で行う。)の後、受給者を決定し、平成29年4月上旬を目途に、大学を通じて通知する。

11. 支給方法

別に定める方法により、大学を通じて支給する。

12. 受給者の義務

- (1) 受給者は、本奨学金支給期間中の学習・研究状況について、学業成績証明書と共に、毎年度末及び奨学金受給修了後、所定の様式により、大学を通じて理事長に提出しなければならない。
- (2) 受給者は、本協会又は寄付者の要請に応じ、アンケート等への回答、あるいは交流会等に参加しなければならない。

13. 奨学金給付の休止または終了

- (1) 受給者が長期欠席した場合は、本奨学金を支給しない。
- (2) 受給者が、次の①から④のいずれかに該当した場合には、奨学金の支給を打ち切る。
 - ① 大学を休学又は留年した場合。
 - ② 本奨学金受給者の義務を怠った場合。
 - ③ この要項の定める事項に該当しなくなった場合。
 - ④ その他受給者として相応しくないと判断された場合。
- (3) 応募・推薦書類の記載事項に虚偽のある場合は、受給決定を取り消す。
- (4) 所属大学の留学制度等を利用して海外に留学する場合、長期休暇又は休学の扱いとならなければ、支給を継続する。

14. その他(注意事項等)

- (1) 受給者は、原則として、本奨学金の返還義務を負わない。ただし、13に挙げる事項に該当する場合、すでに支給している奨学金の返還を求める場合がある。また、本奨学金寄付者への入社その他の付帯義務を負うものではない。
- (2) 本奨学金受給生として採用された場合、他の奨学金の受給を目的として辞退することはできない。

15. 個人情報の取扱いについて

応募・推薦書類上の個人情報は、本協会の実施する学生支援事業のみに利用し、その他の目的には利用しない。

16. 応募・推薦書類の提出先・問い合わせ先

公益財団法人日本国際教育支援協会 事業部 国際交流課

〒153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29

TEL:03-5454-5274 FAX:03-5454-5242 E-mail: ix@jees.or.jp

別紙

成績評価係数 計算方法

下記の計算式により小数点第二位まで算出（小数点第三位を四捨五入）した数字を成績証明書(写)に記入して下さい。

〔成績評価係数の算出方法〕（小数点第三位を四捨五入）

4段階評価（パターン1）	成績評価				
	優	良	可	不可	
4段階評価（パターン2）	A	B	C	F	
4段階評価（パターン3）	100～80点	79～70点	69～60点	59点～	
5段階評価（パターン4）	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン5）	S	A	B	C	F
5段階評価（パターン6）	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

〔計算式〕

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

※合格の評価は加算しない。（係数値算出から除外）

－奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2016.02.03

1 申請の前に

- ・募集要項をよく読み、自分が条件に合っているか確認してください。応募条件や支給内容だけでなく、採用後の義務なども確認してください。(認定式や交流会などへの出席は必須、財団により定期的な課題提出などもあります)
- ・他の財団に大学推薦されている場合は、結果が未定でも新たに申請することは出来ません。
(ただし、双方の奨学金が併給可の場合を除きます)
- ・財団によって選考方法が異なります。面接がある場合は交通費、場所、日時などを確認し、必ず出席できるようにしてください。

2 申請書類について

- ・継続申請の場合も、前回のものを流用せず新たに願書を作成してください。
 - ・消えるボールペン(フリクション)は使用せず、必ず黒のボールペンで記入してください。
(消えるボールペンで書かれた書類は財団に提出できません)
 - ・なるべく修正液(テープ)や斜線での訂正はせず、新しく書き直しましょう。
 - ・学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記入してください。
 - ・記入上の注意や指定には必ず目を通し、それに従って記入してください。
 - ・相手方に失礼のないよう、少なくとも記入欄の5～8割(文字数指定がある場合は7～8割)は記入するようにしてください。
 - ・すべて書き終えたら、記入漏れなどがいないか必ず確認して下さい。特に記入することがない欄も、「なし(数字なら0)」等と記入して下さい。
- ※エクセルデータから出力する場合、すべての文字が切れずに枠内に収まっているか確認してください。

3 その他

- ・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合には指導教員または所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。
- ・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。その際は必ず所属部局の奨学金担当係に確認してください。
- ・申請に必要な書類に不足はないか、提出の前に必ず確認してください。特に過去の成績証明書の不足が多いので注意して下さい。
- ・大学を通さず直接応募または継続受給を希望し採用された場合は、必ずその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。

経済状況調査書

Economic Status Report

部局
確認欄

奨学金の受給歴
Scholarship History
(受給予定のものを含む)
(Include prospective scholarships)

名称 _____ (月額 _____ 円)
Name _____ Monthly amount _____
受給期間 : _____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月
Beneficiary period From To

名称 _____ (月額 _____ 円)
Name _____ Monthly amount _____
受給期間 : _____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月
Beneficiary period From To

経済状況
Economic Status

※ 1ヶ月平均・世帯生計を記入のこと
※ Average monthly household budget

収入 _____ 円
Income _____

【内訳】 **同居の配偶者等の収入**
Breakdown Income of spouse living with you

仕送り _____ 円 _____ 円
Remittances from home

自己資金 _____ 円 **【内訳】**
Self-financed Breakdown

アルバイト _____ 円 アルバイト _____ 円
Part-time jobs Part-time jobs

TA・RA _____ 円 TA・RA _____

奨学金 _____ 円 奨学金 _____ 円
Scholarship Scholarship

その他 _____ 円 その他 _____ 円
Other Other

(内訳 _____) (内訳 _____)
Breakdown

宿 舎
Housing

家賃月額 _____ 円
Monthly rent

国際交流会館 ユニバーシティ・ハウス
International House University House

企業等の社宅 県・市営住宅 民間アパート・住宅
Company housing Prefectural and municipal housing Private apartments and housing

その他 (_____)
Other

授業料
Tuition

2016年度前期分
1st semester this year

全額免除 半額免除 3分の1免除
Total exemption Half exemption One third exemption

自己負担 _____ 円
Self-financed

授業料
Tuition

2016年度後期分
1st semester this year

全額免除 半額免除 3分の1免除
Total exemption Half exemption One third exemption

免除申請中 自己負担 _____ 円
Exemption pending Self-financed

総長特別奨学生
President Fellowship

総長特別奨学生です 総長特別奨学生ではありません
I have a President Fellowship scholarship I do not have a President Fellowship scholarship

※総長特別奨学生で民間奨学金に採用された方は、授業料免除申請を取り下げなければならない
場合がある為、各学部研究科奨学金担当係に確認して下さい
President Fellowship scholars who are also selected to receive private scholarships may be required to
withdraw their exemption applications. Please inquire with the staff in charge of scholarships at your
graduate school.

上記のとおり相違ありません。
I certify that the above information is correct and accurate.

年 月 日
Date

学籍番号 _____
Student numbers

氏名 _____
Name

署名 _____
Signature

注意 ・ 記載事項に虚偽が認められたときは、選考の対象としません。
Warning ・ If any of the entered information is found to have been falsified, your application will be disqualified.